

北関東

物流業のユーユーワールド（宇都宮市）は自社商品「ご飯にかける」シリーズで、県内市町の名物を使った「ご当地」飯にかけるシリーズの開発に向け動き出す。2018年初頭の発売に向け、11月から順次各市町に商品開発を提案していく。栃木県内でのJRGグループの大型観光企画「デステイネーションキヤンペーン」（DC）もにらみ、土産物としての需要も見込む。

同シリーズにはおからやピーナツ、ニンニクなどをを用いたペースト状の調味料「ご飯にかけるギ

栃木の名産、「ご飯にかける」

ユーユーワールド



「ご飯のお供」になる土産物として好評だ

全25市町で開発めざす

「ギョーザ」がある。肉を使わずにギョーザの味を忠実に再現している点が評判で、14年の発売から累計150万個を売り上げている。17年7月にはか

「ご飯のお供」になる土産物として好評だ

をベースに、ニラやトウガラシなど各市町の名産品を加えるなどしてアレンジする。ラベルも自治体と協力の上、各地限定のものデザインする方針だ。小川恒夫社長は、県内の全25市町でオリジナル商品を作りたい」と意気込む。ご当地シリーズ全体で5万個の売り上げが目標だ。

「ギョーザ」は、知名度は県内外で上昇傾向だ。13日に同社がエースコック（大阪府吹田市）と共同開発したカップラ

観光企画の土産物にも

「ご飯にかけるギョーザ味ラーメン」を全国のイトーヨーカドーで発売し、21日からは北関東3県のセブンイレブンでも販売する。

地元栃木県のPR商品として開発された「ごはんにかける」シリーズをテコに各市町のPRにも乗りだし、地域活性化の裾野を広げる。さらに県内では18年4月からDCが始まり、土産物などとして観光客向けの売り上げが見込める。小川拓矢専務は「それぞれの特色を生かした商品を開発し、DCを盛り上げていきたい」と話す。

支局

水戸 029-122
 つくば 029-185
 宇都宮 028-166
 前橋 027-122